



BUILD LIVE JAPAN 2015

Aconex 基本操作

事前準備: BIMを使用する際の必要要件

事前準備: ご利用開始にあたって

STEP 1: 各チームごとのプロジェクトにアクセス

STEP 2: 新規モデルスタックを追加

STEP 3: モデルの新バージョンをアップロード

STEP 4: 不要となったモデルをアーカイブ化

STEP 5: モデルを表示

STEP 6: オービットモードでモデルを操作

STEP 7: ウォークスルーモードでモデルを操作

STEP 8: オブジェクトのプロパティを表示

事前準備：BIM を使用する際の必要要件

BIM が問題なく動作するために不可欠なシステム要件をご確認ください。

BIM をご利用頂くには、以下のハードウェアおよびソフトウェアが必要となります。

ハードウェア

- Microsoft® Windows® Windows 7 もしくは 8, 64 bit。
- Mac OS X
- OpenGL サポート付のグラフィクスカード。お好みにより、NVIDIA®もしくはAMD®のグラフィクスカードをご利用いただけます。Intel®のカードをご利用いただく場合は、ドライバー関連の問題が発生する場合があります。
- 最新のビデオカード・ドライバー。
- 4GB 以上の RAM 搭載。

ソフトウェア

- Java の最新バージョン。
- Internet Explorer 10 以上、Firefox の最新バージョン。
※Google Chrome は、最新版で JAVA のサポートを終了しましたため推奨して
おりません。ご注意ください。
- Internet Explorer 推奨設定
(<https://www.aconex.com/support/ja/aconex/our-main-application/software-requirements/internet-explorer-recommended-configuration>)
- Firefox 推奨設定
(<https://www.aconex.com/support/ja/aconex/our-main-application/software-requirements/mozilla-firefox-recommended-configuration>)

事前準備：ご利用開始にあたって

Aconex をご利用いただき、ありがとうございます。この度、Build Live Japan 2015 イベントにおいて Aconex BIM を提供させて頂くことになりました。ご利用前に、以下についてご確認ください。

1. ご使用のコンピュータはシステム推奨要件を満たしていますか？
2. ご使用のブラウザは最新バージョンですか？
3. 最新バージョンの Java はインストールされていますか？ 次のリンクからご確認くださいいただけます。 [<http://java.com/ja/download/>] にある [Java の有無のチェック] をクリックします。
4. 最後に、Aconex Build Live Japan 2015 のユーザーアカウント作成の通知メールを受信していますか？

上記内容をすべて満たした上で、Aconex のご利用を開始していただけます。
操作方法に関しては以下のリンクをご参照頂きますようお願い致します。

<https://www.aconex.com/support/ja/aconex/our-main-application/using-aconex/using-bim>

本サービスお問い合わせ窓口

エイコネックスヘルプデスク 受付時間：9時から18時(土・日・祝日をのぞく)

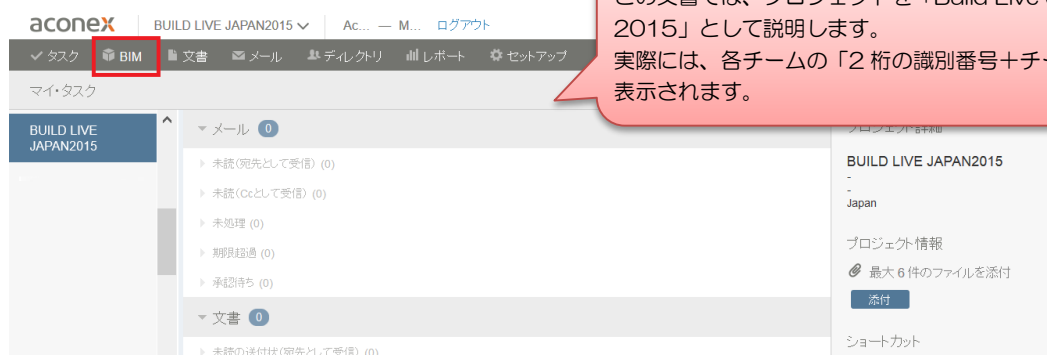
担当 櫻井(asakurai@aconex.com), 太田(takehitoota@aconex.com)

TEL: 03-5325-3054

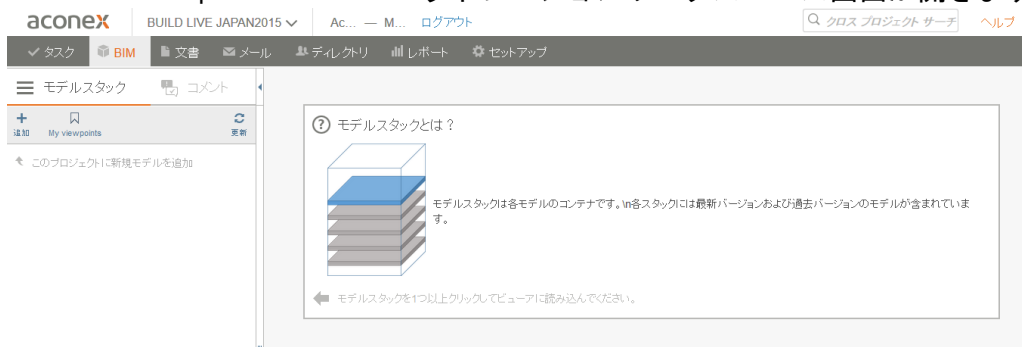
STEP 1: 各チームごとのプロジェクトにアクセス

1. <https://hk1.aconex.com/Login> を開きます。
2. 日本語表示でない場合には「日本語」を選択します。

3. Aconex のログイン名（ユーザー名）およびパスワードを入力して「ログイン」ボタンをクリックします。（このページをブックマークしておくで次回以降の操作が楽になります。）
4. Aconex の BIM モジュールをクリックして、「表示」欄の「モデル」をクリック

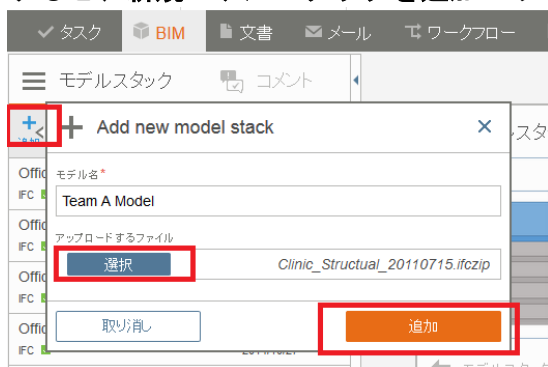


5. Build Live Japan 2015 BIM コラボレーションワークスペース画面が開きます。

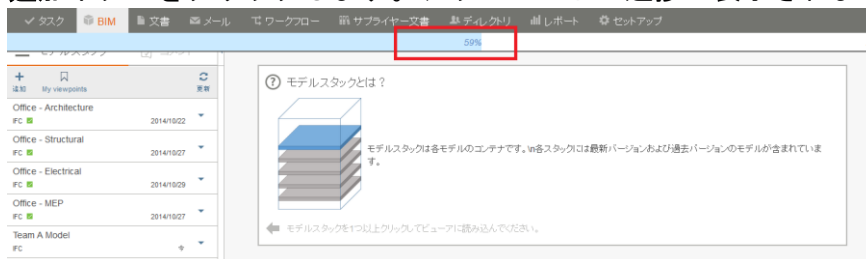


STEP 2: 新規モデルスタックを追加

1. モジュールメニューから BIM のタブをクリックし、モデルを選択します。
2. 空のモデルスタック・メニューが表示されます。追加のアイコンをクリックすると、新規モデルスタックを追加のウィンドウが表示されます。



3. 追加するモデルスタックの名前を入力します。
4. 選択をクリックし、ご使用の PC、またはネットワークにある IFC ファイルを検索します。
5. 追加ボタンをクリックします。アップロードの進捗が表示されます。



6. モデルスタックメニューに、新しいスタックが表示されます。アップロードした IFC ファイルが有効な場合、チェックボックスが緑色となります。



もしアップロードされたファイルが有効な IFC ファイルでない場合 (例: IFC 形式以外のファイルをアップロードした場合)、チェックボックスの色は緑色ではなく、オレンジ色となり、IFC ファイルを差替える必要があることを示します。

【注意】

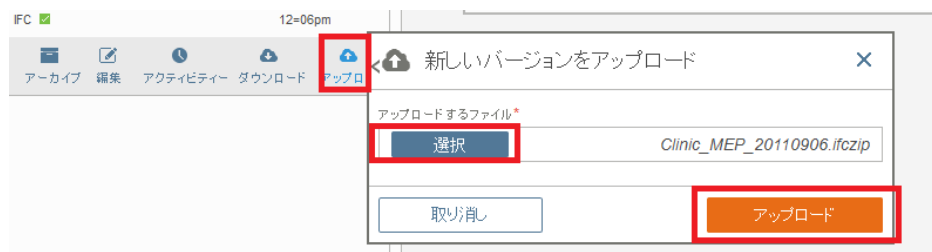
IFC への出力は、『Unicode』または『UTF-8』を使用してください。Aconex に登録した時に文字化けする可能性がありますので、『Shift-JIS』は使用しないでください。

STEP 3: モデルの新バージョンをアップロード

1. モデルスタックメニューから更新したいモデルをクリックします。
2. メニューの下向き矢印 をクリックし、アップロードのアイコンをクリックします。

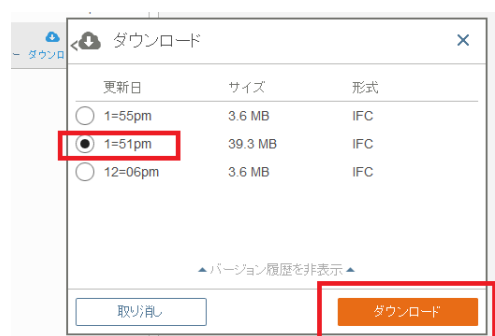


3. 選択ボタンをクリックし、ご使用の PC、またはネットワークにある IFC 形式の最新版モデルを検索した後にアップロードボタンをクリックし、モデルを最新バージョンに更新します。



旧バージョンのモデルをダウンロード

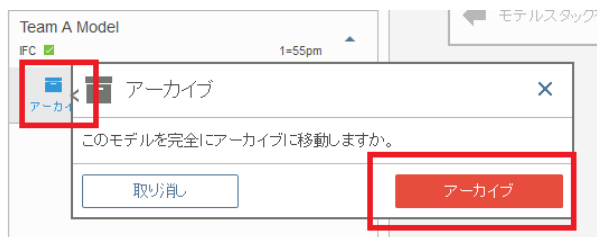
1. 下向き矢印のダウンロードアイコンをクリックしてダウンロードパネルを開きます。最新バージョンがデフォルトで選択されています。
2. 「バージョン履歴を表示」をクリックして、ダウンロードするバージョンを選択します。
3. 「ダウンロード」をクリックします。モデルが、最適化された ifczip ファイルでダウンロードされます。



STEP 4: 不要となったモデルをアーカイブ化

アーカイブされたモデルは、モデルスタックメニューから永久削除されます。プロジェクトの履歴としては残りますが、プロジェクト参加者がアクセスすることはできません。

1. モデルスタックメニューからアーカイブするモデルを特定します。
2. メニューの下向き矢印をクリックし、モデルツールバーを表示します。
3. アーカイブのアイコンをクリックします。

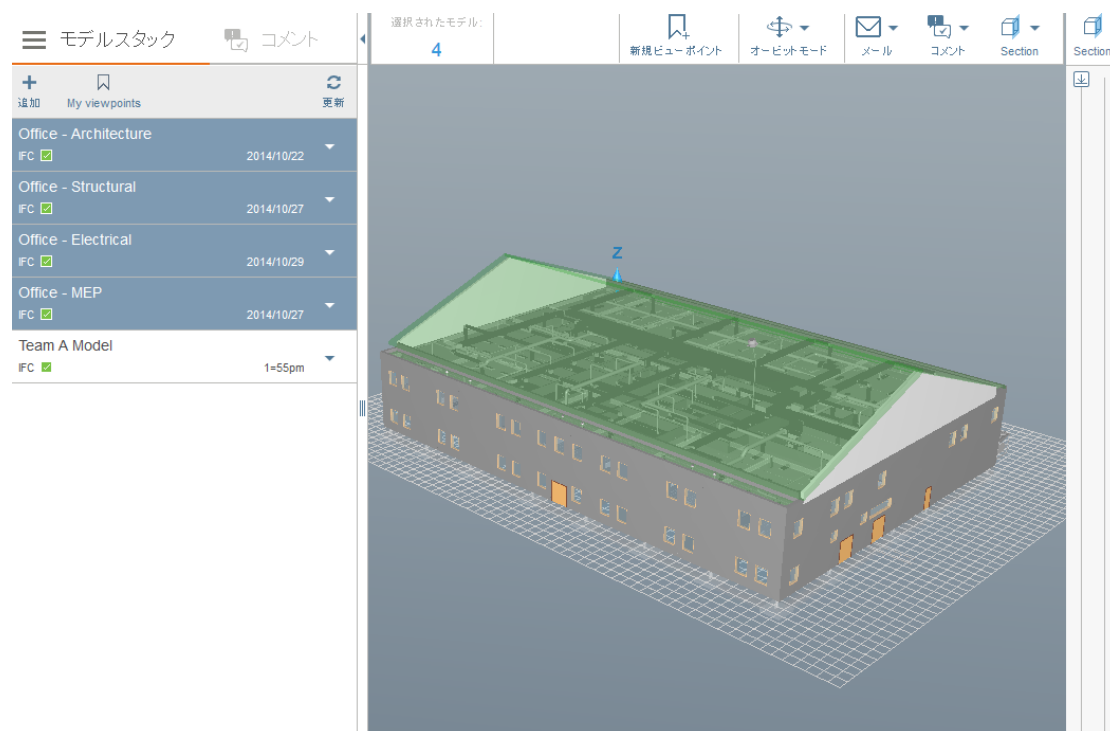


4. ポップアップが表示され、モデルの永久アーカイブ化について、確認メッセージが表示されます
5. アーカイブをクリックします。
6. モデルがアーカイブされると、確認メッセージが表示され、モデルスタックにも表示されなくなります。

実際の提出前のテストなどを行った時にはモデルをアーカイブすると表示されなくなります。

STEP 5: モデルを表示

1. モジュールメニューから BIM のタブをクリックします。
2. モデルスタックメニューにはプロジェクトで利用可能なモデルが表示されます。
3. 表示したいモデル名をクリックしてモデルを表示します。(複数のモデル例えば建築図、構造図、設備図等の選択可能)
4. モデルが読み込まれると、各モデルボックスは濃いグレーで表示されます。モデルは 3D ビューアで表示されます。



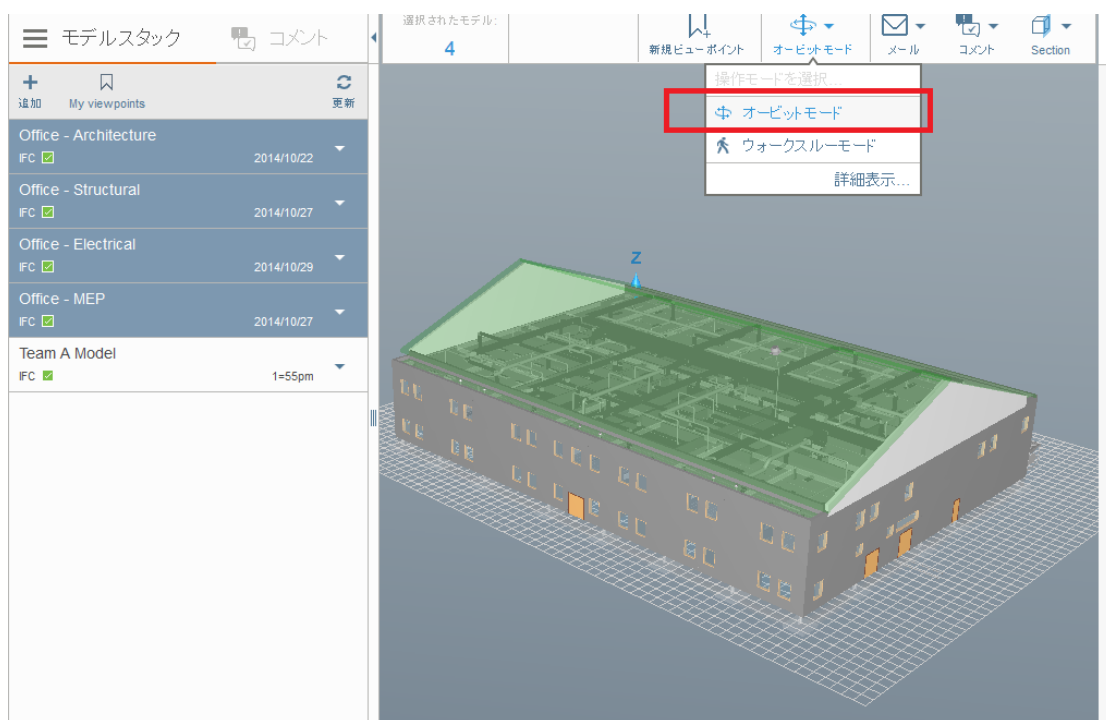
5. 表示中のモデルを表示画面から除外するには、モデルタイトルをクリックします。

モデルのオブジェクトに関する操作:

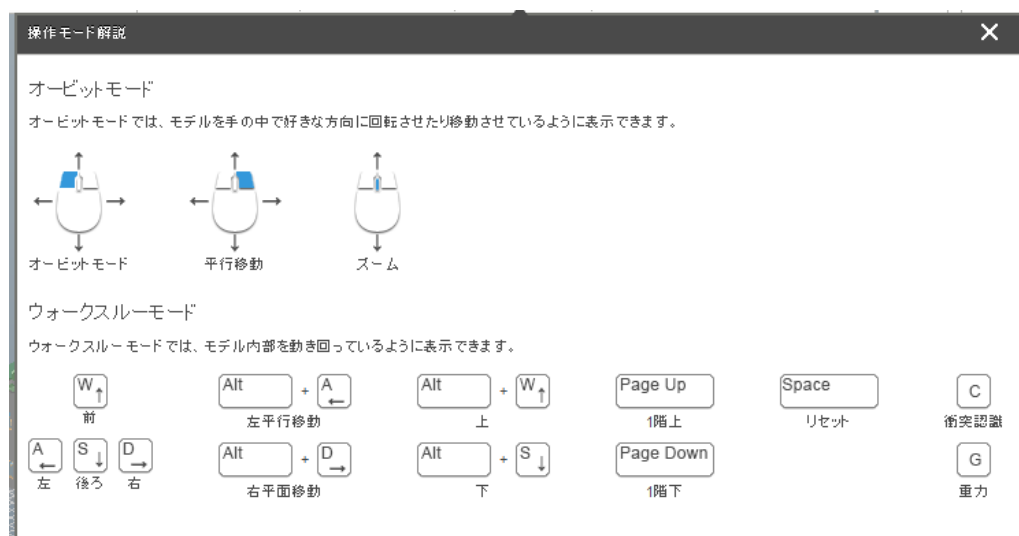
- オブジェクトをクリックして選択します。
- 右クリックでオブジェクトメニューが表示されます。このメニューを使用して、オブジェクトを望みどおりに表示したり、表示・非表示などの操作もコントロールできます。

STEP 6: オービットモードでモデルを操作

1. 表示するモデルを選択します。
2. モデルの読み込みが完了したら、ナビゲーションツールバーのオービットモードアイコンをクリックし、オービットモードを選択します。



3. オービットモードの操作に関する詳細は、「詳細表示」をクリックして、操作ガイドパネルをご覧ください。



操作方法:

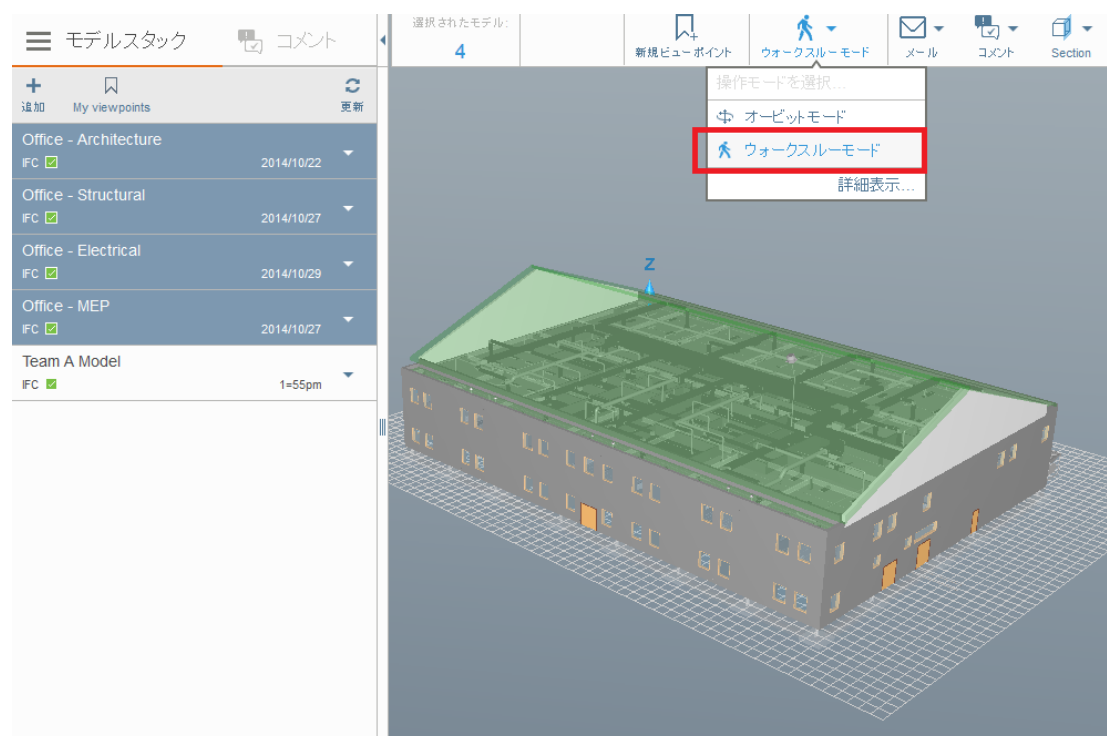
- **モデルを3次元で回転:** 左マウスボタンを押したまま、ドラッグします。
- **平行移動:** ALT キーと左マウスボタンを押したまま、動かす方向にドラッグします。
- **ズームイン:** CTRL キーと左マウスボタンを押したまま、マウスを前方に動かします。
- **ズームアウト:** CTRL キーと左マウスボタンを押したまま、マウスをご自身の方向に動かします。

モデルのオブジェクトに関する操作:

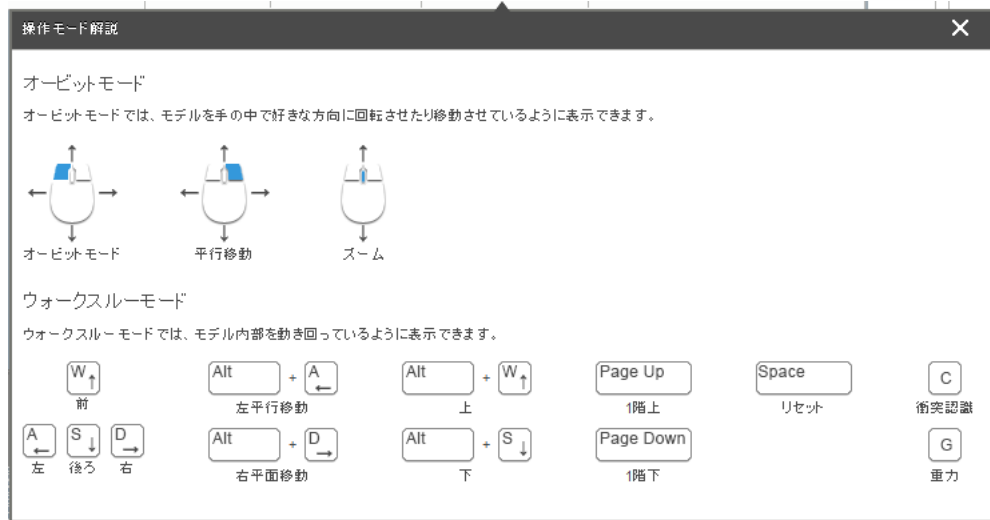
- オブジェクトをクリックして選択します。
- 右クリックでオブジェクトメニューが表示されます。このメニューを使用して、オブジェクトを望みどおりに表示したり、表示・非表示などの操作もコントロールできます。

STEP 7: ウォークスルーモードでモデルを操作

1. 表示するモデルを選択します。
2. モデルの読み込みが完了したら、ナビゲーションツールバーのオービットモードアイコンをクリックし、ウォークスルーモードを選択します。



3. ウォークスルーモードの操作に関する詳細は、「詳細表示」をクリックして、操作ガイドパネルをご覧ください。



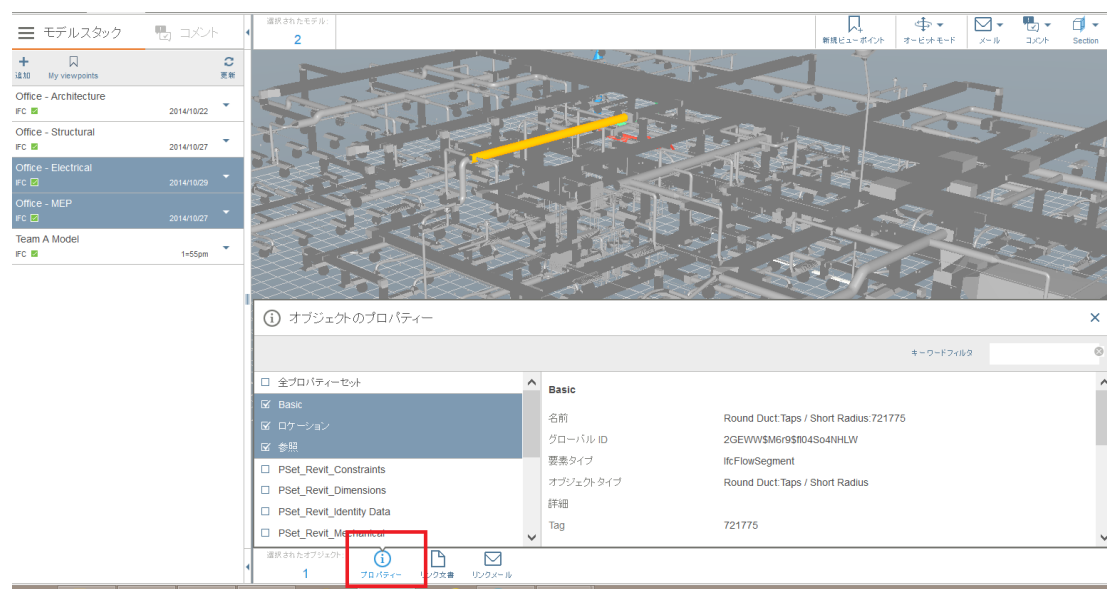
操作方法：

- **モデルを3次元で回転**：左マウスボタンを押したまま、ドラッグします。
- **前進**：上向き矢印キー、またはWを押します。
- **後進**：下向き矢印キー、またはSを押します。
- **右へ移動**：右向き矢印キー、またはDを押します。
- **左へ移動**：左向き矢印キー、またはAを押します。
- **右平行移動**：ALT キーを押したまま、右向き矢印キー、またはDを押します。
- **左平行移動**：ALT キーを押したまま、左向き矢印キー、またはAを押します。
- **上を見る**：ALT キーを押したまま、上向き矢印キー、またはWを押します。
- **下を見る**：ALT キーを押したまま、下向き矢印キー、またはSを押します。
- **一階上がる**：ページアップキーを押します。
- **一階下がる**：ページダウンキーを押します。
- **オブジェクトのコリジョンオン/オフ切り替え**：Cを押します。
- **重力のオン/オフ切り替え**：Gを押します。
- **モデルをリセット**：スペースキーを押す

STEP 8: オブジェクトのプロパティを表示

オブジェクトのプロパティパネルから、表示中のオブジェクトのプロパティにアクセスできます。

1. モデルスタックメニューから、表示したいモデルを選択します。
2. 確認したいオブジェクトへとカーソルを動かし、その上でクリックするとオブジェクトが選択されます。
3. 選択されたオブジェクトのツールバーからプロパティアイコンをクリックします。
4. デフォルトでは、「ベーシック、ロケーション、リファレンス」が選択されておりオブジェクト・プロパティパネルの右側に表示されます。また、選択された項目は、パネル左側のメニューでハイライトされています。



5. プロパティ項目を、非表示にするには、各項目横のチェックボックスをクリックしてください。
6. スクロールバーを使用して、その他のプロパティ項目にアクセスできます。プロパティ項目を表示するには、各プロパティ項目横のチェックボックスをクリックして選択します。パネル右側にプロパティ詳細が表示されます。
7. 表示されたプロパティ詳細をキーワードで絞り込むには、オブジェクトプロパティ右上にあるキーワードフィルターボックスにキーワードを入力してください。
8. オブジェクトプロパティパネルを閉じるには、右上端にあるクロスマークをクリックしてください。